

「出生コホートを用いた腸内細菌叢と生活習慣、健康、疾患リスクとの関連」 研究実施のお知らせ

1. 研究の対象となる方

子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）の8歳児および12歳児学童期総合健診に参加された方へ

2. 研究期間

研究機関の長の許可日 ～ 2031 年 3 月 31 日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

利用開始予定日：2025 年 12 月 1 日

4. 研究の目的

本研究は、山梨県のエコチル調査参加者を対象に、8歳児および12歳児学童期総合健診時に収集した便検体を使用し、腸内細菌叢と子どもの生活習慣、健康、疾患リスクへの影響、腸内細菌叢に影響を与える妊娠中からの環境要因や生活習慣を明らかにすることを目的とします。

5. 研究の方法

エコチル調査 8 歳児対面調査（承認番号:2070, 課題名：エコチル調査 8 歳学童期総合健診）に同意され、糞便検体が回収済みの母子もしくは12歳児対面調査（承認番号:2661, 課題名：エコチル調査 12 歳学童期総合健診）に同意され、糞便検体が回収済みまたは回収予定の子どもに対して、腸内細菌叢の解析を行います。

その他、必要な情報は、すでにエコチル調査で収集しているデータから抽出します。遺伝子多型 SNPs はすでに承認済みの研究課題（認番号:2218、課題名：エコチル調査 8 歳学童期総合健診の採取検体を用いた遺伝子解析）、アレルギーに関する追加調査（承認番号:2689、課題名：アレルギー性鼻炎症状の分子メカニズム解明）で取得した情報を利用します。

妊娠中からの環境要因と学童期の腸内細菌叢の関連、さらに疾患リスクや生活習慣への影響について遺伝子多型を考慮して検討を行います。

6. 研究に用いる試料・情報の項目

情報：調査票回答データ（エコチル調査における調査票や検査のデータも用います）

試料：血清、DNA、糞便 DNA

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

【研究責任者】

山梨大学 疫学・環境医学講座 三宅 邦夫

9. 試料・情報の管理について責任を有する者

山梨大学

10. 個人情報の取扱いについて

研究者等は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守します。また、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。

11. 利益相反について

外部との経済的な利益関係等によって、公的研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、又は損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、疫学・環境医学講座の研究費（科研費や奨学寄付金など）を用いて実施します。この研究に関して開示すべき利益相反関係はありません。

12. お問い合わせ等について

本研究に関してご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望により、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書や関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、本研究に試料・情報が用いられることについてご了承いただけない場合は研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

担当者の所属・氏名：山梨大学 疫学・環境医学講座 三宅 邦夫

住所：〒409-3898 山梨県中央市下河東 1110

メールアドレス：kmiyake@yamanashi.ac.jp

FAX：055-273-9561